

山行報告

■飯盛山

＜初めての山歩き教室・実技2＞

- 日 程：5月13日(土)
- 参加者：[サポート]L藤原(千) SL安田 尾内 砂川(延) 春本 松本(聡)
[教室生]有原 石井 一瀬 岡田(郁) 小野 谷
- 行動記録：駐車場 9:05 発～相ノ山(9:40 着)～飯盛山(10:05 着)10:20 発～愛宕山(10:40 着)10:45 発～駐車場(11:40 着)



◆近くの低山で絶景

教室生・有原

飯盛山は平荘湖畔を歩いていると北側に見え、以前から「一度登ってみたいな。」と思っていた山でした。当日は気になっていた雨も降らず、山行が実施できて本当によかったです。

知人から飯盛山は急なところもあり、「しんどいよ。」と聞いていたので最初、少し不安でしたが、リーダーさんが私たちのペースを配慮し、先導してくださったおかげで、疲れることもなく、快適な山歩きができました。感謝です。そして、自宅から近くに、こんなにいい山があることが新しい発見でした。

登り始めて10分も登れば平荘湖の全景、20分登れば加古川や高砂、南方には瀬戸内海、西方には高御位山も望むことができます。登るにつれてすばらしい景色が広がっていくことに感動の連続でした。「こんな近くでこんなきれいな景色が見られるなんて!」。歩き始めてから30分ほどで相ノ山、その後、更に30分ほどのアップダウンを経て飯盛山山頂に到着。少し

降りた所の岩場に座り、休憩をしました。はるか向こうに明石海峡大橋も見えます。お茶がおいしい！いただいたキャラメルがおいしい！時々吹く風が気持ちいい！「やっぱり山はいいな。」その後、愛宕山を経て予定通り2時間半の行程を終えました。

今回の山歩きではリーダーさんに、的確なアドバイスをいただき、とても勉強になりました。これからも先輩の方々に色々とお教えいただきながら、山歩きを楽しんでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

■市ノ池周辺

＜初めての山歩き教室・実技3＞

●日 程：5月21日(日)

●参加者：[サポート]L佐々木 SL藤原(千) 阿部 上田 敷田 砂川(延) 高島 春本 松本(聡)
[教室生]石井 一瀬 大山 岡田(郁) 小野 谷

●行動記録：駐車場 13:10 発～88mピーク(13:30 着)～送電線鉄塔1(13:31 着)13:35 発～渡渉点(14:15 着)～馬の背分岐(14:18 着)～馬の背(14:44 着)15:00 発～送電線鉄塔2(15:05 着)～登(下)山口(15:35 着)

◆コンパスを使って

教室生・一瀬

山歩き教室コンパスの取り扱いに参加しました。初めて市ノ池公園を訪れました。新緑の季節、よく晴れいいお天気です。

午前中の座学では行く日の天気を調べておく重要性。日頃から天気図を見ていると気圧配置によって天気の移り変わりの違いが分かること等々を学びました。コンパスの使い方は初めてでとても難しく感じましたが興味深くもありました。

午後からはコンパスの使い方の実践！更に気温は上がり、馬の背めざしてゆっくりと地図上で確かめながら何度も確認し、その都度丁寧に教えて頂きました。自分の位置、進行方向が確かめられるようになり嬉しくなりました。

早速、コンパスを購入したいと思います。お世話になりました。



■氷ノ山・すずこ狩り

●日 程：5月25日(木)～26日(金)

●参加者：L砂川(延) SL佐々木 阿部 大谷 中村 瀧原

●行動記録：

25日 姫路駅9:20発～朝来SA(10:10着)10:45発～関宮(11:30着)～大段が平の駐車場(12:30着)13:15発～神大千本杉ヒュッテ(14:35着)

26日 神大千本杉ヒュッテ8:30発～氷ノ山山頂小屋(9:15着)～神大千本杉ヒュッテ(10:25着)～大段が平の駐車場(11:30着)～朝来SA(15:20着)15:45発～姫路駅(16:30着)

◆豊かな山、氷ノ山を楽しむ

瀧原

初めてのスズコ狩り山行にわくわくしていた。当日は、お天気も良く大段ヶ平に昼過ぎ到着すると、すでに十数台の車が止まっていた。地元の人たちが採った箱いっぱいのスズコを見せてもらった。ちょうど今がスズコ狩りの最盛期なんだろう。

昼食後、登山開始。緩やかなブナの自然林の中を30分ほど進むとクマザサの茂みとなり、道沿いにはちらほらスズコが見えてきた。初めて見るスズコ、15cmほどの可愛い姿である。スズコを取ろうとしたが、ザックが重過ぎて屈めない。

1時間程で神大ヒュッテに到着。2階建てで南にはバルコニーがあり、目の前に広がる中国山地の山並みが美しい。そうじ等を済ませた後、スズコの穴場へスズコ取りに出かけた。

太くて茶色っぽいスズコを見本にもらい、奥に入ったら出口を覚えておくようにと教えられ、クマザサの茂みの中の道を歩いて行った。男性方はいつの間にか姿が見えず、奥に入って採っておられた。私は奥に入るためにはクマザサを踏み込まなくてはならず、滑りそうで怪我でもしたらと思うと怖くて入れなかった。道ばたから1～2mの辺りで見つけて採った。それでもたくさん採れた。(見本とはだいぶ違うけど、..)

ヒュッテに戻ると真ん中に据えられたストーブに薪をくべて暖めてくださっていた。ストーブの上で採ってきたばかりのスズコを焼きながら、薪の火を見ていると遠い昔のたき火やかまどの火が思い出された。いつからだろう、燃える炎を見ることがなくなったのは、のんびりとしていると体も心もほっこりと温かくなった。焼き上がったスズコは美味しかった。晩ご飯は

途中のお店で調達した但馬牛のすき焼きである。たっぷりの牛肉でほんとに美味しい山ご飯に満腹だ。ゆったりと談笑していると夜も更けてきたので、持参した衣類を着込んでシュラフに潜り込み、沢から台所に引いた水音を聞きながら寝た。

翌日未明、雨が降り、起きる頃には辺り一面霧で真っ白。頂上へ登るのを遅らせことになり、目覚めの温かいコーヒーと朝食をとった。出発の頃には青空も見えはじめ、天然記念物の千本杉の原生林や古生沼を見ながら頂上へ。広々とした頂上から大山は



見えなかったが、ハチ高原や日本海が見えて眺望を楽しんだ。下りもスズコが見えると採取した。掃除、戸締まりを済ませて、それぞれにお土産を持ちヒュッテを後にした。下山途中、クマザサの中で黒い物（人）がガサゴソ動いていたり、突然、茂みから姿が現れたりこのシーンならではの光景に驚いた。

帰りに東尾根登山口に行き、慰霊碑のある辺りに向かって心の中で祈った。労山の仲間の遭難からずっと続いている山行で、2～3年に1度は慰霊碑の前まで行っているようだ。今回は氷ノ山で「スズコ・神大ヒュッテ・そして仲間」を楽しんだ。いろいろな体験をさせてもらって感謝しかない。リーダーはじめ参加の皆さま、協力しあう山行の楽しさを味わわせて頂きありがとうございます。又、長時間の運転をしていただきありがとうございます。ぜひ、皆さまも1度参加してみてください。非日常の山生活が楽しめますよ。

■あびき湿原 自然保護観察会

●日 程：5月27日(土)

●参加者：L須増 SL尾越 生永 臼井 土井 松本(聡) 吉村

●行動記録：JR加古川駅9：13発～粟生駅(9：37着)10：06発～北条鉄道・網引駅(10：10着)10：20発～南網引公会堂(11：00着)11：10発～あびき湿原入口11：30着<見学>～あびき湿原入口・駐車場(12：40着 昼食)13：10発～北条鉄道・網引駅(13：35着)13：57発～粟生駅(14：02着)14：07発～JR加古川駅(14：31着)

◆あびき湿原散策

松本(聡)

加西市内に勤めて25年が過ぎました。「網引湿原」「ハッコウトンボ」の存在は知っていましたが、今まで訪れるきっかけがありませんでした。山行案内にその名を見つけ、今回を逃したら訪れることはないかもしれないと思ったのと、兵庫労山所属会の交流事業ということで、いろんなクラブの方と知り合うことが出来るかと思い申し込みをしました。

当日は北条鉄道の網引駅で集合でした。大半の方がJR加古川線～北条鉄道を乗り継いで来られましたが、私は15分もあれば駅に着けるので、車で行くことにしました。少し早く着いて、駅に設置してある「大イチョウ」の説明文や「周辺マップ」等を読んでいると列車がホームに入ってきました。1両編成だったということもあるのですが、あんなに超満員の北条鉄道を見るのは初めてでした。

駅からはあびき湿原保存会の方がガイドについてくださり、簡単な行程の説明等の後、出発です。道々「網引」や播磨風土記にも出てくる「糠塚山」の由来、そして道端に咲く花々の名前等を教えて下さいました。

あびき湿原に入る前に、強制ではありませんが保全協力金として各人100円の募金をしました。入口のフェンスに入る際には、入山人数を数えるためのカウンターの紐をひき入って行きます。道の両脇にある草木には、市内の小学生が樹木名と氏名を手書きした看板がつけられており、心が和みました。これを書いた子ども達は、将来きっと自然を大切にする人になってくれるはずだと思います。途中の沢で、外部の植物の種等を持ち込まないように靴底を洗い、湿原へ入って行くと湿地の中に小さくてかわいいピンクの花が咲いていました。「トキソウ」というそうです。

そして目を凝らして見てみると、真っ赤で小さなトンボが飛んでいました。日本一小さな「ハッチョウトンボ」のオスです。保存会の方から、茶色で地味なメスを見つけられたらラッキーですよと言われ、さらに目をこらすと、いました。湿地に生える草にひっそりと止まっていた。写真を撮ったのですが、周りの草や湿地の色に溶け込んでしまって、どこに写っているのかわかりませんでした。他にも動植物の名前や似たような種類との違いを説明していただいたのですが、覚えの悪い私の頭では右から左へと通り抜けて行ってしまいました。帰りの列車が一時間に一本しかないので、あわただしく昼食を済ませ、駅までの道を急ぎました。普段そばを通ることの多い場所ですが、こんな静かな所があったんだと知り、いつまでも残していかなければならない場所だと改めて思いました。



【トキソウ】



【ハッチョウトンボ・メス】

■若杉原生林を歩く

<ゆっくらリズム>

- 日 程：5月27日(土)
- 参加者：L徳本 SL澤田(律) 江崎 坂本 佐野 田中(重) 平石 春本 福原 藤原(千)
- 行動記録：若杉原生林駐車場(9:00着)9:20発～第1分岐点(9:30着)～第3分岐点(10:15着)～展望台(10:45着)11:00発～第2分岐点(11:10着)～駐車場(11:50着)

◆参加人数限定のプレミアム山行

江崎

毎月、会報を手にするると一番始めに山行案内のページに目を通す。何処か行きたい山がないか…と言うより登れる山がないかと言った方が正しいかも知れない。その時参考にするのが歩行距離や歩行時間、集合場所等だ。今回は初めて人数に定員のあるコースだった為、慌てて申込用紙に記入した。当日は天気に恵まれ、季節も何とも良いタイミングだったと思う。現地まではレンタカーでの移動で、車から見える麦畑の黄金色と田植えを終えたばかりの緑色が爽やかに窓の外に広がる。若杉原生林は私の期待した通りの、期待以上のとても魅力的な場所だった。自然の奥深さを至る所で感じながら谷川に沿った登山道を流れを縫うように渡りながら登って行く。溪流はふかふかの緑色のコケで覆われた石や草の間を心地よく流れ、思わず何度も写真に収めた。それから鳥の種類もその鳴き声からするととても多そうだ。乏しい私の知識ではウグイスとカッコウくらいしか解らなかった。木の大きさにもびっくりする、どれも大木で種類も多くそれぞれきちんと名前札が付けられていて説明文も添えてあった。いつもは遅れないように行くのに一生懸命で足元しか見ていない感じだが、今回はリーダーさんが配慮してくれたのか気持ちの良いペースで歩くことができた。

帰りは(みたき園)という処に寄り、山菜料理の昼食を頂いた。ここもまたとても雰囲気のあるお店で、中央にある茅葺きの古民家は移築されたとの事。庭に流れる小川もわざわざ引き込み、滝までも作られたと女将さんが食事の時に説明しておられた。食事中にもカエルの鳴き声と鶏のコケッコウが静かな庭園に響き渡っていた。是非いつかまた…リーダーさんとドライバーさんに再びの計画をお願いしたいと思います。本当に有難うございました。



■早朝のびんぐしやま鬢櫛山・とまみやま苦編山縦走

<女性委員会>

- 日 程：6月3日(土)
- 参加者：L島谷 SL徳本 生永 上田 臼井 木村 松田 三木(知) 宮本
- 行動記録：播磨高岡駅6：25発～びんぐし山7：10発～もみとり山(7：20着)7：30発～苦編山(8：45着)9：00発～城之台9：30発～本徳寺(9：45着)9：50発～英賀保駅(10：00着)

◆早朝の鬢櫛山・苦編山縦走

臼井

前日の台風で、心配だった天気も快晴。雨に洗われて清々しい朝。昨年、英賀保駅から鬢櫛山までの往復コースを登った事があり、今回はその半分の距離なので大丈夫かな？と思っていたら…。

播磨高岡駅からの登山口、なかなかの急登。階段もあり、普段なら問題なさそうですが、岩が昨日の雨と苔で所々滑る。滑らなさそうな所を探しながら気をつけて進む。二本足で登るのが難しいなら、手もついて必死に登る。早朝なのに、既に暑くて汗だく。姫路城や、コクワガタをみつけたり、景色を楽しみながら縦走。下山しても10時過ぎ。「早起きは三文の徳」のことわざのように、これから暑くなる季節は早めに登るのもいいな。充実した1日になりました。企画していただいたリーダーの方々、参加された皆さん、ありがとうございました。



■高御位山

＜初めての山歩き教室・実技4＞

- 日 程：6月4日(日)
- 参加者：[サポート]L砂川(延) SL木村 藤原(千)
[教室生]石井 一瀬 大山 岡田(郁) 小野 谷
- 行動記録：みどりの相談所 10:20 発～縦走路出合(11:15 着) 11:20 発～高御位山山頂
(12:05 着) 12:15 発～みどりの相談所(13:30 着)

◆いつかは登る！夢にまで見た高御位山

教室生・大山

6月4日(日)前々日の台風は何処へやら…天気は申し分のない空。JR 神戸駅を am7:00 過ぎに出発！遠方からの参加を気に掛けて下さったメンバーの方と砂川会長のお世話になり無事、みどりの相談所前に am 9:00 到着！この日は登山の前に、高砂加古川地区の例会がありました。見学をさせて頂きました。その後、各々のグループに分かれストレッチ後いよいよ山へ。砂川会長を先頭に、その後ろを一步一步見よう見まねと言う感じでスタート。大雨後の影響で足元を心配し、恐る恐る山道を歩き始めましたが、すぐ前をゆく砂川会長の安定した歩きを見ていたら、付いて行けば大丈夫！と言う心強い気持ちになっていました。登山道は岩が多く、所々ここは道？細くて山の斜面を身体を傾けながら歩いているかの様なスリル満点なルートもありました。分岐点も多く、高御位山は他にもいくつかのコースがあると教えて頂きました。ひとりではムリだな、仲間と一緒に登山は安心して本当に心強いと改めて思いました。前方に聳えている山頂、あそこまで行きますと聞こえた時には、まさか…歩けるだろうかと少し気が遠くなりましたがちょうどその時、道端にササユリが2輪咲いていました。淡いピンク色。まるで貴婦人のよう。。気分ほっこりとまた一步一步前へ。もうすぐと言う励ましの声に支えられ気が付くと山頂に到着！断崖の岩場からは市街地と瀬戸内海。山々に囲まれた大パノラマ。外国人登山者や他のグループ、子供たち等沢山の人がベンチで休憩をしたり、絶景を見渡し山頂を楽しんでいました。わたしも遂に登れたー！実感が湧いて来て(遅っ笑)清々しい気持ちになりました。アメイジング！！感動も束の間、すぐに下山へと歩き出しました。不思議とこの時には朝の不安も登りの疲れもすっかり無くなっており足取りが軽くなっていました。帰りはあっという間に下山した様に感じました。高御位山は夢で見た通りの素晴らしい山でした。念願が叶い達成感でいっぱいでした。もう一度登りたいです♪ご一緒くださったみなさま、楽しい時間をどうもありがとうございました。

